

雑誌コード／定期刊行物 JAN コード 登録とソースマーキングの運用の手引き

2025 年版（2025 年 6 月）

※2026年1月発行以降の定期刊行物から運用開始

発 行

一般社団法人 日本出版インフラセンター

雑誌コード管理センター

2025年版 刊行にあたり

このたび2016年版から大幅な改訂を行いました。まず、名称そのものが変わりました。「定期刊行物コード（雑誌）」という表記はわかりにくいという意見が多かったため、いくつかの問題を解決することで「定期刊行物JANコード」と名称変更することになりました。雑誌以外に新聞が使用する可能性があります。コードの管理は当委員会で行うことで名称の統合をすることとしました。また、2026年1月発行以降の雑誌から、10年サイクルで使用してきたコードをユニークコードに変更します。後述しますが、予備で残っていたコードに西暦の下2桁目の数字を記すことで2099年まで同じコードは使用されなくなります。その先は流通コードそのものが今の桁数では運用できなくなっていると予想されます。60年後の後輩達に新しいコード体系の創設を託すこととします。また、これまで雑誌コードの申請は書面で行われてきましたが、ついに電子申請できるようになりました。日本における雑誌文化の更なる発展を祈りつつ手引きの全面改訂を行いました。改訂に当たって尽力してくださったスタッフ、委員の皆様から感謝いたします。

2025年6月1日
雑誌コード管理センター 雑誌コード管理委員会
委員長 中島博通

はじめに

「雑誌コード/定期刊行物JANコード登録とソースマーキングの運用の手引き」の起源は、旧「共通雑誌コード管理センター」から2003年12月に発行された「雑誌コード/定期刊行物コード（雑誌）登録とソースマーキングのガイド」です。その目的は、出版業界各位に定期刊行物コード（雑誌）に関する理解を深めてもらい、間違いのない運用を実施することでした。「共通雑誌コード管理センター」はその後、2012年4月に日本雑誌協会からJPOへと移管され、名称を「雑誌コード管理センター」に変更しました。その後2014年10月にこの「手引き」は改訂されました。その際の主な変更点は、雑誌コード登録時に必要な費用のアップデートや当時の現状に即した関連部署名への変更、さらにこの「手引き」を冊子にして有料で販売することをやめ、PDF化したファイルを「雑誌コード管理センター」の専用ホームページにて無料でダウンロードできるようにしたことでした。これにより、利用者各位は費用負担の軽減はもとより、常に最新の規定にアクセスできることとなり利便性が向上しました。その後2016年に、この手引きの名称を「雑誌コード/定期刊行物コード（雑誌）登録とソースマーキングの手引き」に変更し、この度2025年版の改訂で「雑誌コード/定期刊行物JANコード登録とソースマーキングの運用の手引き」へと変更されました。

今回の改訂により、2026年1月発行以降の定期刊行物JANコードは、10年に一度の巡回から100年に一度の巡回となり、実質的にユニークコード化されます。これにより、特にネット書店で販売されている10年前の商品と直近の商品が混同するという問題は解決されるはずですが。また雑誌コードの電子申請化が可能になったことにより、申請する際の負担は軽減されます。

この10年間、雑誌の売り上げが落ち込む中でも、各出版社は定期刊行物JANコード、雑誌コードを柔軟に活用して様々な商品を開発しました。「表紙違い版」「付録違い版」「ミニサイズ版」、そして雑誌の新たな可能性を実証実験する「10（イチゼロ）コード」などです。電子版やサブスクリプションサービスも普及しました。それらの流通や管理の根幹をなすものが定期刊行物JANコードおよび雑誌コードです。

当手引きを活用して、これからも様々な雑誌やサービスが開発され、雑誌業界が盛り上がることを切に願います。

今回の改訂に際して、何度もミーティングを行い、貴重なご意見、アドバイスを頂戴した関係各位には、この場を借りて改めて感謝を申し上げます。

出版業界各位には、定期刊行物JANコードについて、今後ともご理解を賜り、円滑な運用が図れますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年6月1日
雑誌コード管理センター
雑誌コード管理委員会
委員長 中島博通

目 次

◆ 出版業界における流通コードの体系.....	1
◆ 雑誌コードと定期刊行物 J A Nコードについて	
1. 雑誌コードの概要とコード体系.....	2
2. 定期刊行物 J A Nコードの概要と体系.....	3
3. 雑誌コードおよび定期刊行物 J A Nコードの表示方法.....	6
4. 定期刊行物 J A Nコードのソースマーキングの流れ.....	9
5. 定期刊行物 J A Nコードのチェックデジットの計算方法.....	10
6. 雑誌コードと定期刊行物 J A Nコードの登録、更新、変更等の諸手続きについて.....	12
◆ その他雑誌扱い出版物（雑誌扱いコミックス・ムック）について.....	15

◆出版業界における流通コードの体系

現在、雑誌コードの管理・運営は雑誌コード管理センターが行っており、コード運用については雑誌コード管理委員会にて決定されます。管理委員会は出版社・取次会社・書店などのメンバーで構成され、コード運用の問題が生じた際は、管理委員会にて検討します。

現在の出版業界における流通コードの体系は、以下の通りとなります。

分類	可読コード	自動認識コード
雑誌	雑誌コード	定期刊行物 J A Nコード (J A Nシンボルとアドオンシンボル)
コミックス・ムック (雑誌扱い)	雑誌コード I S B Nコード	書籍 J A Nコード (J A Nシンボル)
書籍 (書籍扱いコミックスも含む)	I S B Nコード	書籍 J A Nコード (J A Nシンボル)

各コードの管理元

- ◎雑誌コード 一般社団法人 日本出版インフラセンター内
雑誌コード管理センター
(申請窓口は (株)トーハン 雑誌仕入へ業務を委託)
- ◎定期刊行物 J A Nコード GSI Japan 一般財団法人 流通システム開発センター
(申請窓口は (株)トーハン 雑誌仕入へ業務を委託)
- ◎ I S B Nコード 一般社団法人 日本出版インフラセンター内
日本図書コード管理センター
- ◎書籍 J A Nコード GSI Japan 一般財団法人 流通システム開発センター
(申請窓口は日本図書コード管理センターへ業務を委託)

*雑誌扱いコミックス・ムックには雑誌コードと I S B Nコードと書籍 J A Nコードを表記しますが、書籍 J A Nコードを表記する場合は、出版社ごとに J A Nコードの管理元である一般財団法人 流通システム開発センター (申請窓口は日本図書コード管理センター) へ登録申請をする必要があります。

各コードの登録申請窓口

- ◎雑誌
 - ・雑誌コード..... (株)トーハン 雑誌仕入
 - ・定期刊行物 J A Nコード (株)トーハン 雑誌仕入
- ◎雑誌扱いコミックス・ムック
 - ・雑誌コード..... (株)トーハン 雑誌仕入
 - ・ I S B Nコード..... 日本図書コード管理センター
 - ・書籍 J A Nコード..... 日本図書コード管理センター
- ◎書籍扱いコミックス
 - ・ I S B Nコード..... 日本図書コード管理センター
 - ・書籍 J A Nコード..... 日本図書コード管理センター

◆雑誌コードと定期刊行物 JANコードについて

1. 雑誌コードの概要とコード体系

(1) 雑誌コードの概要

雑誌コードは 1978 年 3 月に改正・制定された 5 桁のコードで、雑誌の標題（誌名・タイトル）ごとに設定される商品番号です。

雑誌コード管理センターより付与され、市販されている雑誌の裏表紙（表 4）に 5 桁のコードと 2 桁の月号数をハイフンでつなぎ、印刷表示されています。

雑誌の単品管理を行うにあたり、どの雑誌の何月（何週）号か、あるいは第何号であるかが、雑誌コードで識別することができます。

また、POS システムが導入されていない店舗での販売管理や、返品処理が自動化されていない店舗では、雑誌コードで商品分別を行っているため、雑誌コードの正しい表示が必要不可欠となります。

雑誌コードは、その雑誌の発行形態（刊行形態）によって運用方法が異なりますので、出版者（社）におけるコード設定や、書店など小売店でのシステム設計等の際には、雑誌コードの仕組みについて十分理解しておくことが重要となります。その仕組みについて下記に表しました。

(2) 雑誌コードの体系

【発行形態の見分け方】

○雑誌コード「Z1 Z2 Z3 Z4 Z5」- 月・号「V1 V2」

「Z1」の意味		「Z5」の運用方法	「V1 V2」の運用方法
0	月刊誌 (隔月刊 ・季刊・不定期誌 含む)	通常号（本誌）は奇数 別冊・増刊号は末尾「Z5」に +1 し偶数となる 「Z5」が 9 の場合、繰り上がって「Z4」「Z5」が変わる	発行月 (01 ~ 12)
2	週刊誌 (隔週刊 ・月 2 回刊 含む)	※同じ月の発行週（1 ~ 5 週） 1：第 1 週発行日（1 ~ 7 日号） 2：第 2 週発行日（8 ~ 14 日号） 3：第 3 週発行日（15 ~ 21 日号） 4：第 4 週発行日（22 ~ 28 日号） 5：第 5 週発行日（29 ~ 31 日号） 6 ~ 9：増刊・別冊号	発行月／日号 発行月／日号 発行月／日号 発行月／日号 発行月／日号
4	コミックス	バーコードは書籍 JAN コード体系	通巻 (01 ~ 99)
5	ムック	バーコードは書籍 JAN コード体系	通巻 (01 ~ 99)
6	オーディオ商品	バーコードは書籍 JAN コード体系	
8	直販誌 80 月刊誌 81 月刊誌 82 週刊誌 83 週刊誌 84 週刊誌 85 新 聞 86 月刊誌 87 月刊誌 88 週刊誌 89 月刊誌	月刊誌の体系に準じます 〃 週刊誌の体系に準じます 〃 〃 月刊誌の体系に準じます 月刊誌の体系に準じます 〃 週刊誌の体系に準じます 月刊誌の体系に準じます	発行月 〃 発行月／日号 発行月／日号 発行月／日号 通巻 発行月 〃 発行月／日号 発行月
9	PB 商品		

※コミックス・ムックは、5 桁のシリーズコードに対し 99 本刊行が可能ですが、99 号以降は、新たな 5 桁のコード（繰り上がり）の申請が必要となりますので、雑誌コード管理センターに申請を行って下さい。

※「3 コード」：2013 年 8 月より「2 コード」体系に準じ運用開始。

※雑誌扱いコミックス・ムックについては P.15 の◆その他雑誌扱い出版物（雑誌扱いコミックス・ムック）をご参照下さい。

※ ISBN コード国際規定（ISO2108）により、オーディオ商品とは、オーディオブック、テープ、CD、DVD（教育目的）

2. 定期刊行物 JAN コードの概要とコード体系

➤ 定期刊行物 JAN コードの概要

わが国の流通では、一般の商品については、JAN コードを JAN シンボルで表したバーコードが広く普及し、使用されています。

JAN コードとは、商品を識別するための 13 桁のコードであり、商品のブランドオーナーが商品ごとに設定します。JAN コードは、機械で自動読み取りができるよう、JAN シンボルという縞模様に変換され、商品に印刷表示されます。

商品に表示された JAN コード・JAN シンボルを、店頭での POS システムで読み取ることにより、レジ精算の効率化や、単品ごとの販売情報の把握が実現されました。さらに、JAN コード・JAN シンボルは、入出荷管理・在庫管理や受発注にも活用されています。

定期刊行物（雑誌）についても、この仕組みを利用して一般の商品と同様に業務の効率化を進めるため、雑誌用の仕組みが導入されました。

1986 年には、JAN コードに準拠した 13 桁で、雑誌コード、月・号、定価を表わす「共通雑誌コード」が制定され、雑誌への JAN シンボルによるソースマーキング^(注1)が始まりました。

2004 年には、「共通雑誌コード」の体系に対し、アドオンコード^(注2)を追加するなどの改定が行われ、名称を「定期刊行物コード（雑誌）」と変更し、実施されました。

その後、2025年に「定期刊行物 JAN コード」に名称変更しました。

現在、雑誌などの定期刊行物は一般の商品と同様に広く小売店頭で販売され、また、広く流通している商業雑誌については「定期刊行物 JAN コード」がほぼ 100% ソースマーキングされています。

【用語説明】

注 1 ソースマーキング：

商品のブランドオーナーが出荷段階で商品にバーコードを印刷表示すること。この項では、特に出版者（社）が雑誌に対して印刷段階でバーコードを印刷表示することを意味する。

注 2 アドオンコード：

GS1^(注3) が制定した 2 桁もしくは 5 桁の補助コード。

注 3 GS1：

GS1（旧国際EAN協会。2005年1月に名称変更）は、国際標準の商品識別コード、バーコードシンボルなどの流通情報システムの基盤の開発と普及を世界的に推進している。現在 100ヶ国以上が加盟しており、日本は 1978 年に加盟した。

➤ 定期刊行物 JAN コードのコード体系
 ※2026年1月発行以降の定期刊行物から運用開始

(1) 定期刊行物とは

- ◆ 定期刊行物とは、一定期間を置きながら同じタイトルで発行する連続刊行物で、雑誌・新聞などを指します。

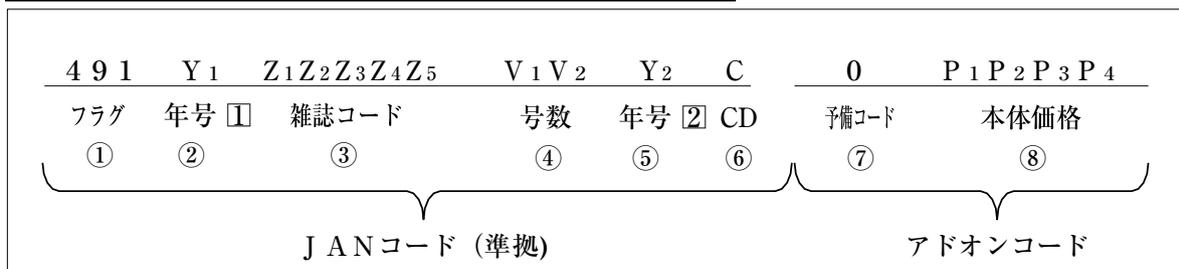
(2) 定期刊行物 JAN コードとは

- ◆ 販売（POS）や物流などにおいて、定期刊行物を識別するために最小限必要な情報を JAN コード体系に準拠して表現したものです。雑誌・新聞などを対象とするため「定期刊行物 JAN コード」と呼ばれます。
- ◆ 対象となるのは、週刊誌・隔週刊誌・月 2 回刊誌・月刊誌・隔月刊誌・季刊誌・年 1 回以上発行する不定期誌・臨時増刊号・別冊などです。
- ◆ 定期刊行物 JAN コードを雑誌に表示する場合は、雑誌コードの取得及び、定期刊行物 JAN コードの登録申請が必要です。
 手続きについては P.12 を参照して下さい。
- ◆ なお、雑誌扱いコミックスとムックのバーコード表示は、2 段型の書籍 JAN コードを使用します。

(3) 定期刊行物 JAN コードの体系

- ◆ JAN コードに準拠した 13 桁のコード体系 [以下、JAN コード（準拠）] に、価格を表現するための 5 桁のアドオンコードを付加し、合計 18 桁で構成されています。
 このコード体系は、2026年1月発行以降の定期刊行物から運用を開始します。

コード体系【 JANコード（準拠） + アドオンコード体系】



表示項目①～⑧の説明

- ① 4 9 1 フラグ = 定期刊行物コード用フラグ 3 桁
- ② Y₁ 0 ~ 9 年号 ① 1 桁
 年号は西暦の下 2 桁目を表示します。(例)2026 年 → 2
 ※2026 年 1 月発行以降の定期刊行物から運用開始
- ③ Z₁Z₂Z₃Z₄Z₅ 雑誌コード 5 桁
 取得している雑誌コード (P.2 参照) を使用します。
 新しい雑誌コードが必要な場合は別途取得して下さい (P.12 参照)。

- ④ V₁V₂ . . . 号数 2桁
雑誌の「号数」あるいは「月号」を2桁で表示します。
週刊誌、月刊誌は発行月を表示します。
- ⑤ Y₂ . . . 年号 2桁 1桁
年号は西暦の下1桁目を表示します。(例) 2026年→6
- ⑥ C . . . チェックデジット 1桁
定められた計算式によって算出された数字を表示します。
計算式についてはP.10を参照して下さい。
- ⑦ 0 . . . 予備コード 1桁 (当面雑誌は『0』を使用します)
必要に応じて以下の対応も視野に入れていきます。(現時点では未定)
⇒非再販商品対応 (時限再販及び部分再販など)
⇒消費税、その他の対応
- ⑧ P₁P₂P₃P₄ . . . 本体価格 4桁
本体価格を円単位で表記します。
(例) 838円 → 0838
本体価格が10,000円以上の雑誌は全て“0000”と表記します。
(例) 15,000円 → 0000

アドオンコードのチェックデジット

アドオンコードのチェックデジットはバーコードには表記されません。定められた計算式によるチェックデジットを、バーコードの表示方法であるパリティの組み合わせで検算する「パリティチェック方式」が採用されています。計算式についてはP.11を参照してください。

3. 雑誌コードおよび定期刊行物 JAN コードの表示方法

(1) 雑誌コードとバーコードユニットの表示位置について

- 雑誌の裏表紙（表4）の下段に必ず雑誌コードとバーコードユニットを併記表示。
（再販指定商品の場合は、「定価・本体」表示も必要）

(2) 定期刊行物 JAN コードの表記構成

- 雑誌コードとバーコードユニットの組み合わせが必須条件で、双方を必ず併記して印刷表示します。
併記表示については、P.8 の例図 1 から例図 4 のように判別しやすいように印刷を行わなければなりません。

【雑誌コード】

- 5桁の雑誌コードと2桁の月号数をハイフンでつないだものを表示する。
- 写植13級活字歯送り・活版は9ポイント活字ベタ組みで、正体ゴシックを使用する。
- 表示位置はバーコードユニットと天揃えにする。

【バーコードユニット】

- 表示位置は、基本的に裏表紙（表4）の下段の綴じ（背）側とする。
- 白地に墨色で表示（地色がある場合はバーコードユニットのスペース分を白まどで対応）する。
- 印刷段階でのシンボルの高さは15mm以上（製本上の断ち落とし（三方断裁）の縮小を考慮して実効12mm確保は必須）とする。

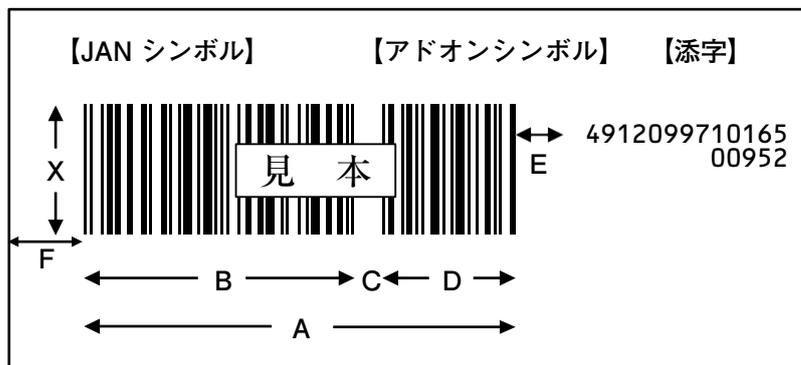
◆定期刊行物 JAN コードを雑誌のどこに表示するかが、重要なポイントになります。

以下に挙げる点を考慮し定めていますので、十分に理解し作成して下さい。

- ①店舗などで売上処理をする時にわかりやすい等、各種の店舗オペレーション上で支障が無い読み取りやすい場所であること。
- ②物流現場において、業務がスムーズに処理されること。
- ③流通上のコードの破損・汚損を最小限に抑える配慮。

(3) バーコードユニットの定義

- シンボルと添字を合わせたものを指す。



※左記のバーコードユニットは
実寸ではありません。

【シンボル】

- 定期刊行物 JAN コードから作られるシンボルを指す。
 - A JAN シンボル全長 = 約 50mm
 - B JAN シンボル = 31.35mm
 - C JAN シンボルとアドオンシンボルの間隔 = 2.31mm (7 モジュール)
 - D アドオンシンボル = 15.51mm
 - E アドオンシンボルと添字の間隔 = 2.31mm (7 モジュール) 以上
 - F JANシンボル左側の余白=3.63mm (11モジュール) 以上
 - X シンボルの高さ =印刷段階で 15mm 以上 (製本上の断ち落としの縮小を考慮して、実効 12mm 確保は必須)

【添字】 定期刊行物 JAN コードを文字として表記したものを指す。

ポイント数 = 11 級 (7.825 ポイント) 天地 2.75mm 幅 1.75mm

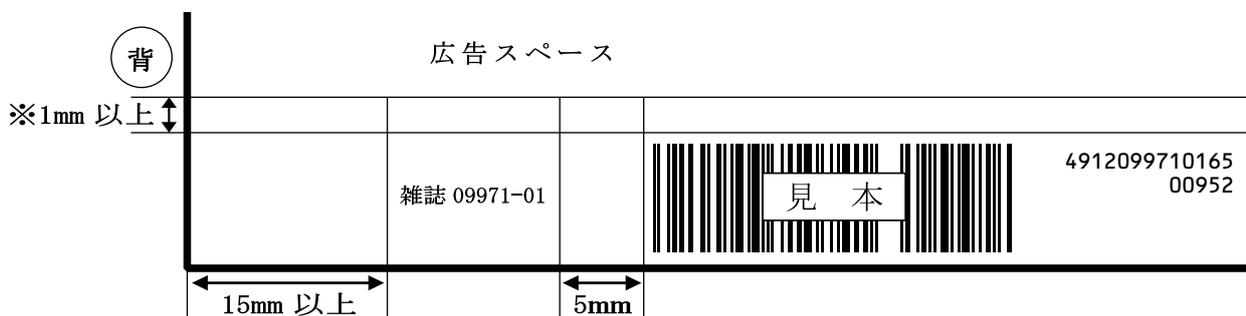
二行で表示 (アドオン部分で改行)、右揃え行送りベタ。

書体はOCR-B フォントが望ましいが、どの書体でも可能。ただし、JAN シンボルと天揃えにする。

(コスト等の問題がありますので、発注先のバーコード制作会社と相談の上、決めて下さい)

- ◆定価・本体の表示は、バーコードユニットと左右で 5mm 以上の間隔の確保が必須となります。

<例図1> 標準的なタイプの表記（右開き）



<例図2> 標準的なタイプの表記（左開き）



<例図3> 左右にスペースがない場合の表記（右開き）



<例図4> 左右にスペースがない場合の表記（左開き）

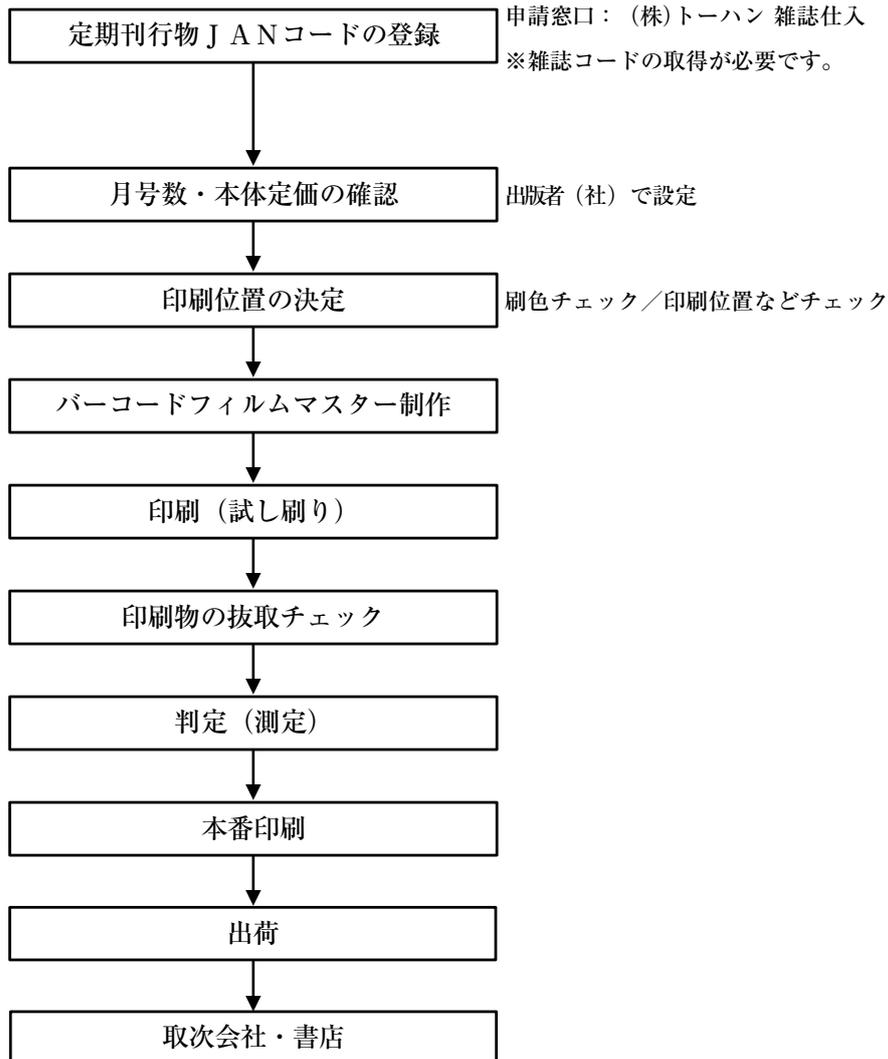


- ◆ バーコードユニットの下部のスペースの有無は問いませんが、シンボルの高さ実効 12mm は厳守して下さい。
- ◆ 例図は実寸ではありませんのでご注意ください。

4. 定期刊行物 J A Nコードのソースマーキングの流れ

- ソースマーキング (source marking) とは、雑誌に対してバーコードを出版者 (社) が、あらかじめ印刷表示することを指します。
実際にソースマーキングを進めるには、次のような作業手順で行ないます。

【ソースマーキングの手順】



- ◆ 各コードの表記を間違えた場合、流通が出来なくなる恐れがあります。
充分ご注意の上、綿密なチェックを行なって下さい。

5. 定期刊行物 JAN コードのチェックデジットの計算方法

- (1) 定期刊行物 JAN コードのチェックデジット（アドオンコードを含まない）の計算方法
チェックデジット（check digit）は、読み誤りがないかを自動的にチェックするための数字です。このチェックデジットの計算方法は「モジュラス10ウエイト3.1」と呼ばれ、JIS に定められています。

定期刊行物 JAN コードは、前述の解説（P.3）のとおり、JAN コードに準拠する 13 桁のコードと 5 桁のアドオンコードで構成されています。

ここでは、JAN コードに準拠する 13 桁のコード、すなわち定期刊行物 JAN コードのうちアドオンコードを含まないコードのチェックデジットについて解説します。

<例>

●雑誌コード：09971/2026年1月号 09971-01

●定期刊行物 JAN コード 491 2 09971 01 6 □
(アドオンコードを含まない) フラグ 年号 ① 雑誌コード 号数 年号 ② CD

●定期刊行物 JAN コード（アドオンコードを含まない）に右端から桁番号を割り振ります。

桁番号	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
JAN コード	4	9	1	2	0	9	9	7	1	0	1	6	CD

●桁番号に基づき、次のように計算します。

①偶数の桁にあたるコードの数字を、足し算します。

$$\underline{9+2+9+7+0+6 = 33}$$

②算出された数字を 3 倍にします。

$$\underline{33 \times 3 = 99}$$

③CD を除いた、奇数の桁にあたるコードの数字を、足し算します。

$$\underline{4+1+0+9+1+1 = 16}$$

④②と③の数字を合計します。

$$\underline{99+16 = 115}$$

⑤合計数の下 1 桁の数字を「10」から引いた数がチェックデジットです。

$$\underline{10-5 = 5}$$

⑥定期刊行物 JAN コード（アドオンコードを含まない）は、4912099710165 となります。

※下 1 桁が「0」の場合は、チェックデジットも「0」となります。

(2) アドオンコードのチェックデジットの計算方法

<例>

- 本体価格：952円
- アドオンコード：『00952』
- アドオンコードに左端から桁番号を割り振ります。

桁番号	1	2	3	4	5
アドオンコード	0	0	9	5	2

- 桁番号に基づき、次のように計算します。
 - ①奇数の桁にあたるコードの数字を、足し算します。
 $0+9+2=11$
 - ②算出された数字を3倍します。
 $11 \times 3 = 33$
 - ③偶数の桁にあたるコードの数字を、足し算します。
 $0+5=5$
 - ④算出された数字を9倍します。
 $5 \times 9 = 45$
 - ⑤②と④の数字を合計します。
 $33+45=78$
 - ⑥チェックデジットは、「8」となります。

- ・ JANコード等では、チェックデジットそのものが1桁の数字で表記されていますが、アドオンコードでは数字上の表記はされません。そこで、<例>で求めたチェックデジットを、下記の5桁の数字バーコード表記方法で表しています。これを『パリティチェック方式』と呼びます。

【パリティチェックの算出方法】

チェックデジット	アドオンシンボルのパリティパターン				
	1桁	2桁	3桁	4桁	5桁
0	B	B	A	A	A
1	B	A	B	A	A
2	B	A	A	B	A
3	B	A	A	A	B
4	A	B	B	A	A
5	A	A	B	B	A
6	A	A	A	B	B
7	A	B	A	B	A
8	A	B	A	A	B
9	A	A	B	A	B

【パリティチェックの算出方法におけるA・Bの表し方】

コード	A	B
0	0001101	0100111
1	0011001	0110011
2	0010011	0011011
3	0111101	0100001
4	0100011	0011101
5	0110001	0111001
6	0101111	0000101
7	0111011	0010001
8	0110111	0001001
9	0001011	0010111

6. 雑誌コードと定期刊行物 JAN コードの登録、更新、変更等の諸手続きについて

雑誌などに定期刊行物 JAN コードと JAN シンボルでソースマーキングを行なう場合、出版者(社)はGSI Japan・一般財団法人流通システム開発センターに申請・登録をしなければなりません。

この定期刊行物 JAN コードはGSI Japan・一般財団法人流通システム開発センターが管理・通知することになっておりますが、雑誌コード管理センター(事務局 一般社団法人 日本出版インフラセンター)が登録の受付窓口を代行しています。

また、雑誌コード管理センターは業務を(株)トーハン 雑誌仕入へ委託しています。

(1) 雑誌コード登録・変更等の手続きについて

①新しい雑誌コード(5桁)を取得するためには、申請の手続きが必要です(P.14 図1)。

手続きの詳細については、コード取得申請窓口(トーハン雑誌仕入)へお問い合わせ下さい。

※コード取得には、登録料(一誌 5,000円+税)のお支払いが必要です。

②各種変更について(8コード(直販コード)誌も含みます)

改題(雑誌名変更)、刊行変更(週刊⇒月刊など)、発売元変更、および休刊の際は手続きが必要です。申請窓口(トーハン雑誌仕入)にご連絡下さい。

※雑誌コードが変更になる場合がありますので申請窓口まで必ずお問合せ下さい。

※休刊届を提出した雑誌コードは原則的に再使用できません。

※8コード以外の変更は、各取次会社へご連絡下さい。

※登録料金は、2025年4月1日以降の登録分より改定。

◆ 登録・更新・変更等のご連絡は下記まで ◆

<雑誌コード管理センター申請窓口>
(株)トーハン 雑誌仕入

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町 6-24

TEL : 03-3266-9530 (直通) FAX : 03-3266-8937

MAIL : beemin_01@tohan.co.jp

(2) 定期刊行物 JAN コードの登録について

- ・登録は出版者(社)単位で行ないます(雑誌単位ではありません)。⇒手続の流れはP.14 図1を参照
- ・登録対象企業は、定期・連続刊行物の発売元となる出版者(社)、輸入雑誌は日本国内の発売元となる出版者(社)になります。

(3) 申請料について

- ・申請料は事前納付制です。
- ・申請料は申請する出版者（社）が発行する全雑誌の年間売上高を下記の申請料料金表に当てはめて算出します。
- ・年間売上高の算出ルール
 - ※出版者（社）の最新の決算期における、送品金額から返品金額を控除した、実売上額です。
 - ※雑誌扱いコミックスとムックの売上は含みません。
 - ※消費税抜きの額となります。
 - ※まだ決算を迎えていない新設出版者（社）は売上ゼロ（E ランク）として申請して下さい。

〔定期刊行物 J A Nコード申請料〕		(消費税抜)
ランク	申請出版者（社）の雑誌の年間総売上高（最新の決算期）	申請料（3年間分）
A	500 億円以上	¥100,000
B	50 億円以上～500 億円未満	¥50,000
C	10 億円以上～50 億円未満	¥30,000
D	1 億円以上～10 億円未満	¥20,000
E	1 億円未満	¥10,000

※別途消費税が必要です

(4) 登録の有効期限

- ・登録月の翌月 1 日から 3 年間とします。
- ・3 年経過毎に更新手続きが必要となります。⇒手続の流れは P.14 図 2 を参照
期限満了の 1～3 ヶ月前に更新案内状が、管理担当者宛に発送されます。
- ・更新期に更新の手続きをされなかった場合は登録が取り消される場合がありますので、ご注意ください。

(5) 登録内容の変更等の諸手続きについて

①定期刊行物 J A Nコード登録内容の変更について

登録してある内容のうち、社名・住所・電話番号・管理担当者が変更になった場合、手続きが必要です。申請窓口（トーハン雑誌仕入）にご連絡下さい。

※発売元変更の場合は、現行の雑誌コードが使えなくなる場合もありますので申請窓口まで必ずお問合せ下さい。

②定期刊行物 J A Nコードの譲渡について

営業権譲渡・合併・分社等の場合、手続きが必要です。申請窓口（トーハン雑誌仕入）にご連絡下さい。

※雑誌の一つを譲渡する場合は各取次会社へご連絡下さい。（8 コードは申請窓口のトーハン雑誌仕入へ）

※営業権譲渡の場合は I S B Nコード・雑誌コード両方共に変更する必要があります。

③定期刊行物 J A Nコードの取消について

全ての定期刊行物の J A Nシンボル表示が不要になった場合は手続きが必要です。申請窓口（トーハン雑誌仕入）までご連絡下さい。

※雑誌の一つが休刊になったという場合は必要ありません。

図1 新規登録申請の流れ（雑誌扱いコミックス・ムックを除く）

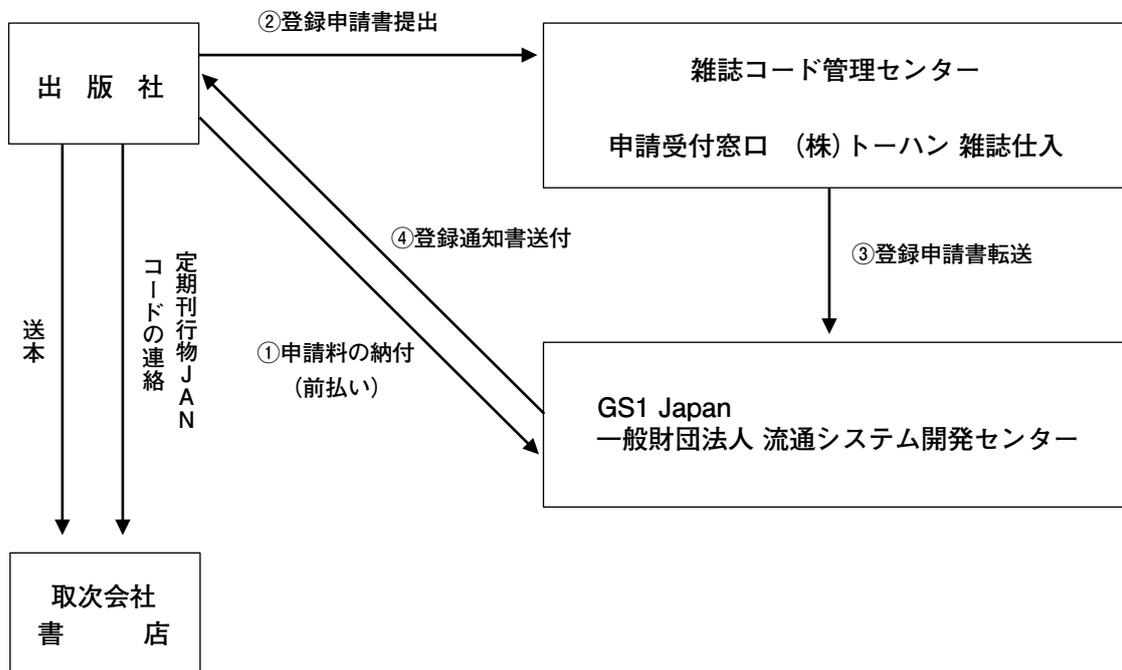
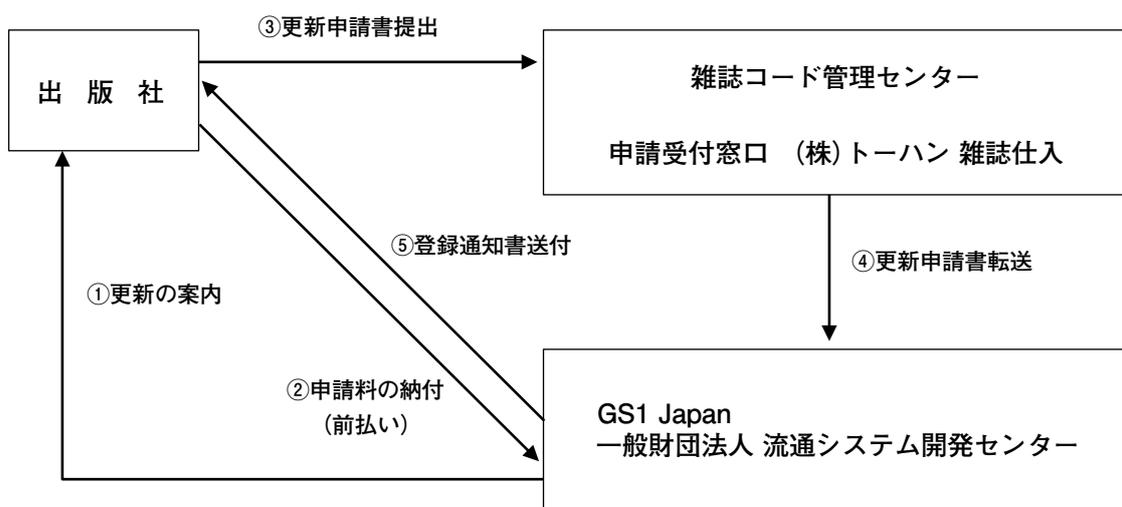


図2 更新申請の流れ（3年毎／雑誌扱いコミックス・ムックを除く）



◆その他雑誌扱い出版物（雑誌扱いコミックス・ムック）について

雑誌扱いコミックス・ムックは、雑誌コードと I S B Nコード、日本図書コード、および書籍 J A Nコード（2段バーコード）の4種類のコードを併記します。

◇雑誌扱いコミックスは下記のコードを併記します。

- 雑誌コード (例) 4××××-×× (4から始まる雑誌コード)
又は
(例) 5××××-×× (5から始まる雑誌コード)
- I S B Nコード (例) ISBN978-4-949999-16-8
- 日本図書コード (例) ISBN978-4-949999-16-8 C9900 ￥2000E
- 書籍 J A Nコード 日本図書コードを2段バーコードにより表示したもの

◇ムックは下記のコードを併記します。

- 雑誌コード (例) 6××××-×× (6から始まる雑誌コード)
- I S B Nコード (例) ISBN978-4-949999-16-8
- 日本図書コード (例) ISBN978-4-949999-16-8 C9400 ￥2000E
- 書籍 J A Nコード 日本図書コードを2段バーコードにより表示したもの

◎登録申請について

各コードの申請窓口と管理元は以下の通りです。

	申請窓口	管理元
雑誌コード	(株)トーハン 雑誌仕入	一般社団法人 日本出版インフラセンター内 雑誌コード管理センター
I S B Nコード	日本図書コード管理センター	一般社団法人 日本出版インフラセンター内 日本図書コード管理センター
書籍 J A Nコード	日本図書コード管理センター	GSI Japan 一般財団法人 流通システム開発センター

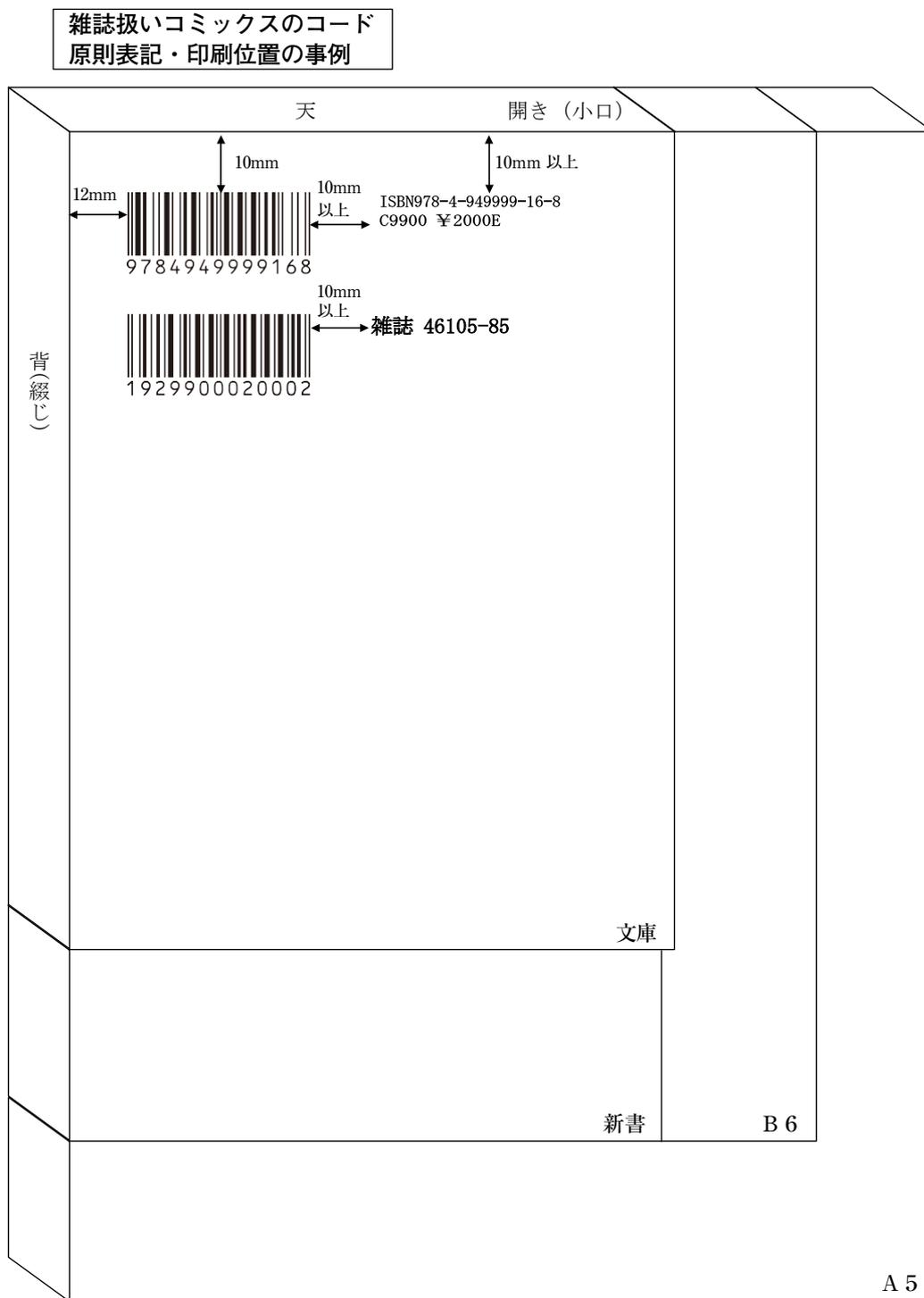
◎コード表記について

雑誌扱いコミックス・ムックのコード表記については規定があります。

それぞれの出版物本体への表記・印刷位置は次ページ以降に示す図版の事例に従ってください。

◎雑誌扱いコミックスのコード表記位置事例

雑誌扱いコミックスの表4への書籍JANコードの印刷位置は背側上部となっています。
右開きコミックスと左開きコミックスでは印刷位置が異なりますので、ご注意ください。



(原寸表示ではありません)

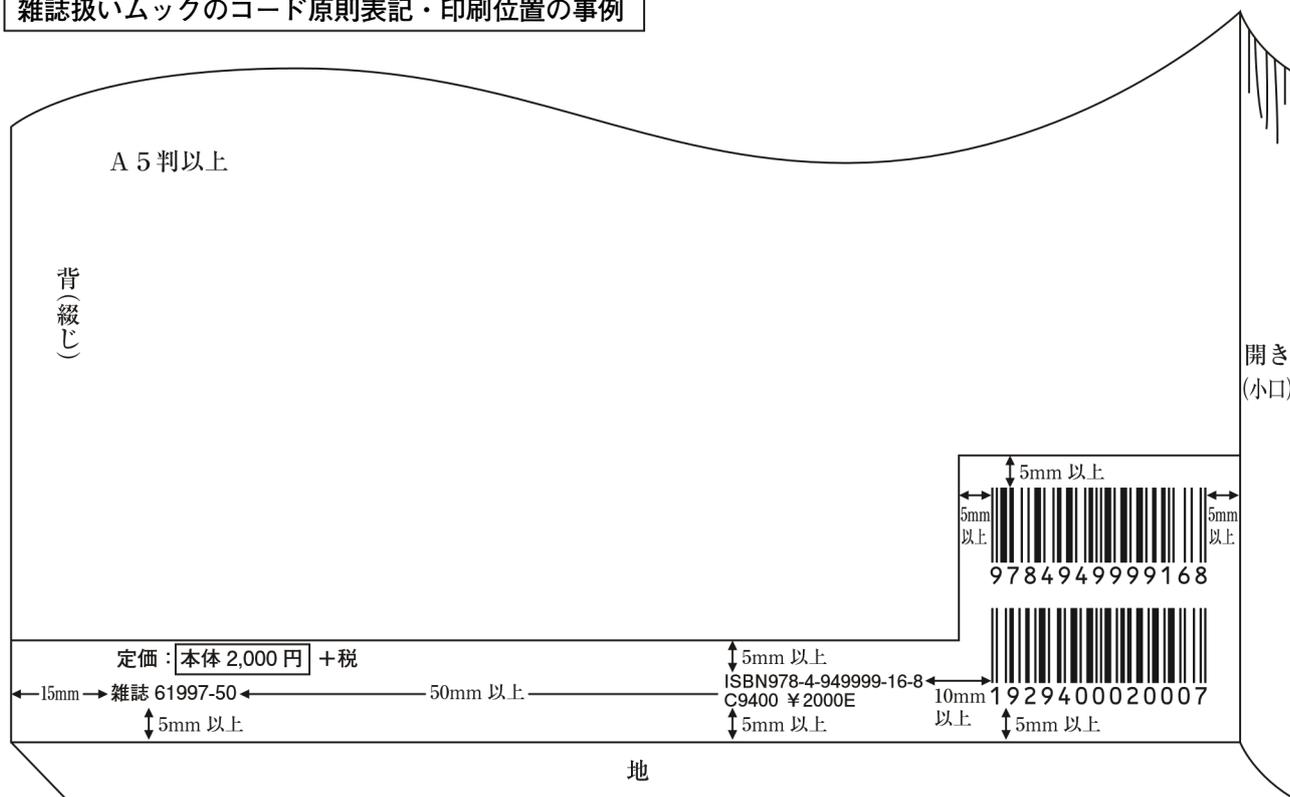
*事例図は右開きコミックスですが、左開きコミックスの場合は左右の配置は逆になります。

◎ムックのコード表記位置事例

ムックの表4への書籍JANコードの印刷位置は小口下部となっています。

右開きムックと左開きムックでは印刷位置が異なりますので、ご注意ください。

雑誌扱いムックのコード原則表記・印刷位置の事例



(原寸表示ではありません)

*事例図は右開きムックですが、左開きムックの場合は左右の配置は逆になります。

ISBNコードと書籍JANコードの詳細につきましては、日本図書コード管理センター発行の手引き『ISBNおよび日本図書コード・書籍JANコード利用の手引き』をご参照下さい。手引きに関するお問い合わせや、ISBNコードならびに書籍JANコードに関するお問い合わせにつきましては下記、日本図書コード管理センターへご連絡下さい。

一般社団法人 日本出版インフラセンター内
日本図書コード管理センター

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル

TEL 03-3518-9862 FAX 03-3273-7851

ホームページ : <https://isbn.jpo.or.jp/>

メールアドレス : isbn-op@jpo-center.jp

雑誌コード／定期刊行物JANコード登録とソースマーキングの運用の手引き 2025年版

2025年6月1日 発行

著作・監修 一般社団法人 日本出版インフラセンター
雑誌コード管理委員会

発行所 一般社団法人 日本出版インフラセンター
雑誌コード管理センター

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル

<https://jpo.or.jp/magcode/>

TEL03-3518-9860

FAX03-3273-7851

©2025 一般社団法人日本出版インフラセンター 雑誌コード管理センター

※ 本書の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法での例外を除き、禁じられています。

※ 本書からの複写、記事の転載または引用を希望される場合は、雑誌コード管理センターまでご連絡下さい。

※この手引きに記載いたしました「定期刊行物JANコード（旧定期刊行物コード（雑誌））」の運用は、2026年1月発行以降の定期刊行物から開始いたします。